



令和元年度 第二十三回
外国人留学生
奨学金受賞者紹介



熊本大学大学院医学教育学部
研究生(韓国)
(細胞医学分野)

洪 性 賢

この度は、肥後医育振興会外国人留学生奨学金を賜りまして、誠にありがとうございます。皆様方に心より御礼申し上げます。

私は韓国からの留学生で、現在は熊本大学発生医学研究所の細胞医学分野にて大学院生として研究を行っております。

研究テーマとしては、自然免疫の記憶メカニズムを研究するためのモデルマウスの樹立を目標しております。免疫記憶については獲得免疫において古くからよく知られておりますが、自然免疫における記憶は近年になってからその存在が認められているため、まだ不明な部分が多くあります。なので私は、自然免疫記憶細胞を蛍光ラベルできるマウスを樹立し、このマウスを用いてどのような細胞が自然免疫記憶細胞になるのか、この記憶細胞は個体において病理学的にどのような働きをするのか、記憶はどのような分子メカニズムによって構築されるのかを明



熊本大学大学院医学教育学部
博士課程二年(中国)
(消化器外科学)

付 凌 峰

私は中国からの留学生の付凌峰と申します。この度は私を肥後医育振興会の奨学生にお選びいただき、誠にありがとうございます。

日本に来る前は、中国で消化器外科の医師として働いていました。現在は、熊本大学消化器外科で胃癌に関する研究を行っています。研究内容が臨床で患者さんの治療につながる様に、毎日研究に励んでいます。私は既に結婚しており、私の影響で、妻も日本で留学しています。彼女は現在、東京大学で医療経済学を勉強しています。

研究テーマについて、現在は「印環細胞型胃癌に特異的な分子による癌進展機構の解明」を研究しています。二〇二二年WHOのデータによると、食生活や生活習慣の影響により韓国、日本、中国など東アジアの国々は依然として胃癌の発

生率が最も高い地域です。胃癌の組織型として大部分を占める胃腺癌の中でも印環細胞癌は、癌細胞間の接着が弱く腫瘍間質に存在する細胞と密接に関わっている。本研究の目的は、印環細胞型胃癌特異的に発現する分子の中で生物学的悪性度に関わる分子による胃癌進展メカニズムを明らかにすることです。

私の両親は既に定年退職しており、私も留学中であることから、経済的には厳しい状況でした。そんな中でこちらの奨学金に選んでいただいたことは、大変嬉しいことで、とても感謝しています。今回の受賞を励みに、医学研究に専念し、微力を尽くして、医学研究で努力したいと思っております。ありがとうございます。



熊本大学大学院保健学教育学部
研究生(台湾)
(公衆衛生看護学)

游 宜 芳

この度は、肥後医育振興会の外国人留学生奨学金を賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

台湾で看護師とケアマネージャーとして働いた経験があります。台湾は日本と同じで少子高齢化問題があり、二〇二七年より「長期照顧十年計画」(長期介護十年計画)を実施しています。二〇一五年に長期照顧服務法(長期介護サービス

法)が制定されました。二〇一七年から「長期照顧十年計画2.0」を実施しています。職務の担い手はケアマネージャーです。

ケアマネージャーの採用資格はソーシャルワーカー、看護師、PT、OT、医師、栄養師、薬剤師、介護福祉士等の資格保有者、または公衆衛生学の修士課程を卒業した者で、学歴と資格によって介護関連領域での実務経験の年数が必要です。背景となる知識によって、利用者たちのニーズアセスメントやサービスのマネジメントや資源分配のやり方などが異なると感じていました。多職種多機関連携を進めることが利用者や家族の健康の維持やQOLの向上に不可欠です。私は連携や協働に関する評価とその関連要因について、台湾のケアマネージャーを対象として調査を行う予定です。

今回の受賞を励みに今後も努力していきたいと思えます。最後に、ご推薦いただいた公衆衛生看護学講座の大河内彩子教授に感謝いたします。